

薬事協会報

2022.1 No.245



公益社団法人 東京薬事協会

食への応用 ~時にワイルドに、時に繊細に



ジビエに使う～スパイス的活用
(ヨモギ、ダンコウバイ他)



盛り付けに凝れば
おしゃれな一品に



野草でティータイム
(ススキ、シマカンギク他)

「ミツバシード」
=ミツバの果実(タネ)



スイーツも愉しく！
(ミヤマガマズミ他)

思い出の植物から



サキシマフヨウ



マツブサ



キバナノツキヌキホトトギス



ミソナオシ



リュウキュウガネブ



ゴキヅル

2021年12月4日開催された「ふれあいガーデン草星舎10周年記念企画」の資料より

謹んで新春の
お慶びを申し上げます

公益社団法人東京薬事協会
会長 岩城 修



新年おめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスによりまだまだ完全なる終息が見えない中、日本のみならず世界を取り巻く経済環境も大きく変わりました。まだまだ難しい経済環境もあり、なかなか新型コロナウイルス以前の状態には改善されない状況にあります。一方、年末には我が国のワクチン接種率が進み、感染者が少なくなり、わずかながら明るい兆しもあります。

2022年の干支は「壬寅（みずのえ・とら）」である。果たしてどんな年になるのだろうか。その前に過ぎた2021年「辛丑」の年を振り返ってみよう。陰陽五行思想では、「辛」は「金の弟」と表される。「金」は冷徹、堅固、確実、秋の象徴である。毎年、師走に清水寺で発表される「今年の漢字」は「金」。辛丑の象徴である「金」だったのは、偶然だろうか？

無観客で開催された東京オリンピック 日本チームの金ラッシュは感激した。

また、大リーグエンジェルスの大谷選手 日本人初のタイトルを数々獲得し、まさに金メダル級の活躍。医薬品業界にあっては後発品メーカーにトラブルが相次いだ。

「ひとつの時代の終わり、新たな時代の始まり」 だったと感じる。

壬寅の年はどんな年になるのだろうか？「壬」は十干の9番目、生命の循環で言えば終わりの位置に近く、次の生命を育む準備の時期。

「壬寅」は厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となるイメージ。

これらを合わせ考えると、陰陽五行説から見た2022年の干支「壬寅」は、「陽気を孕み、春の胎動を助く」冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれることを表している。

引き続き「大災害への日頃の備え」も忘れないようにしたい。

当協会の事業は常設委員会の活動を根幹に、理事会の議決に基づき各事業が執行されています。現会員は医療用医薬品・一般用医薬品・生薬・試薬・製薬原料・化学工業薬品・加工食品原材料・医療機器等の製造、卸売販売及び輸入販売のほか各分野の業務受託業など、幅広く業態・業種・規模を超えた企業で構成されています。また、本町医薬品市場の歴史とその史料の収集、保存がなされているのも当協会の特色であり、中央区民俗文化財40点(登録第83号)を所蔵しております。

また、当協会は平成24年4月に公益社団法人として認定移行し、業種・業態・規模を超えた会員で構成される特性を生かしてまいります。昨年は多くのイベントが中止となりましたが、本年は薬学生を対象にした奨学金給付制度、健康寿命を延ばし介護が必要な人を減らす公開健康講座の開催、薬事知識の普及啓発のイベント、薬事講習会の開催、リーフレット・小冊子の配布等の公益事業を実施してまいります。

今後も地域社会における薬事知識の普及啓発及び薬事関係者に対する情報提供等を通じて都民の健康増進に寄与する事業を行って参ります。何卒、当協会への更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

新年のご挨拶

東京都福祉保健局健康安全部長

藤井 麻里子



新年明けましておめでとうございます。

東京薬事協会の皆様には、日ごろから東京都の福祉保健医療行政に多大なる御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、東京都薬用植物園の運営に関し格別の御尽力を頂き、重ねてお礼申し上げます。

長寿社会と言われる我が国においても、地域で支え合いながら、誰もが安心していきいきと暮らせる、活力溢れる東京を創っていくためには、地域の実情に応じた効率的かつ質の高い医療提供体制の構築と、医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に提供される、地域包括ケアシステムの構築が重要です。

貴協会の皆様には、都民が安心していきいきと活躍し続けられるよう、革新的な医薬品の創出と品質確保、安定供給に一層取り組まれるとともに、セルフメディケーションや適正使用の普及啓発などの取組に本年も御支援賜りますようお願い申し上げます。

改正医薬品医療機器等法により、昨年8月には、認定薬局制度や許可等事業者の法令遵守体制の整備等が施行されました。認定薬局制度は、地域包括ケアシステムの充実に寄与するものであり、地域の医療機関等と連携しながら、患者に適切な薬物療法を提供できる薬局を都道府県が認定する制度となっております。法令遵守体制の整備につきましては、新たに業務監督体制の整備や、経営陣と現場責任者の責任の明確化等を求めています。都においても、引き続き、都民の皆様が住み慣れた地域で安心して医薬品を使うことができるための取組をはじめ、医薬品の品質及び安全性の確保に努めてまいります。

さて、昨年、一昨年から続く新型コロナウイルス感染症対策のため、多くの都民が生活スタイルの見直しを迫られ、様々な経済活動の停滞を余儀なくされました。こうした中で、東京2020大会は、コロナ禍により1年延期、さらには無観客での開催とはなりましたが、貴協会をはじめとする多くの皆様から多大なる御支援と御協力を得て、成功のうちに終えることができました。皆様に心からの感謝を申し上げます。引き続き、都は、強い危機感をもってコロナと闘い、今年こそ、いきいきと輝く日常の風景を取り戻すために、様々な対策を講じてまいります。

結びに、本年が、貴協会の皆様方にとって健やかで明るく、飛躍の年となりますようお祈り申し上げます、新年の御挨拶とさせていただきます。

令和3年度薬草収穫感謝の会」

令和3年11月6日(土)「薬草収穫感謝の会」と「講演会」が東京都薬用植物園で開催されました。本イベントは、主催：(公社)東京薬事協会・(公社)東京生薬協会・本町生薬会・(公社)東京都薬剤師会、共催：東京都により開催されたものです。

① 感謝祭行事

② 講演会

演題 「日本民間薬のルーツ」

時間 10:40～11:40

場所 東京都薬用植物園内 ふれあいガーデン広場

講師 御影雅幸先生 東京農業大学 教授

当日はマスク着用やソーシャルディスタンスのお願いを受け付けでお願いしました。その後、ふれあいガーデン広場では来賓挨拶として東京都健康安全研究センター企画調整部の廣瀬豊 部長よりご挨拶をいただき、その後主催者四団体を代表して東京生薬協会の金原徳典最高顧問より挨拶をいただきました。

御影雅幸先生より演題「日本民間薬のルーツ」が開催されました。

当日は天候に恵まれ11月にしては暖かく多くの方が来園され、参加者には花の苗のお土産などを進呈いたしました。





薬業四団体 2022 年新年年頭挨拶の会開催

東京薬業四団体（公益社団法人東京薬事協会 公益社団法人東京医薬品工業協会 一般社団法人東京医薬品卸業協会 東京都家庭薬工業協同組合）主催の賀詞交換会は今年も中止となりましたが、今年度は「薬業四団体 2022 年新年年頭挨拶の会」として Web で実施いたしました。

◆開催(配信)日時：2022(令和4)年1月6日(木)13:00~13:40

◆会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 京橋

東京都中央区京橋二丁目2番1号 京橋エドグラン 22階

東京医薬品工業協会の清水常務理事による司会で始まり、主催者代表として東京医薬品工業協会の畑中会長の挨拶で始まりました。



東京医薬品工業協会の清水常務理事



東京医薬品工業協会の畑中会長



厚生労働省 厚生労働大臣 後藤 茂之様



東京都福祉保健局食品医薬品安全担当部長中村重信様



参議院議員 藤井 基之様



会場の様子

令和3年度 東京薬用植物園草星舎イベント

昨年12月4日（土）に開催いたしました、草星舎イベント「ハーブ王子降臨」では北部緑地株式会社の取締役会長の原田様より、「草星舎（3社運営：東京薬事協会、東京生薬協会、北部緑地）10周年のお礼を述べました。



草星舎（3社運営：東京薬事協会、東京生薬協会、北部緑地）10周年のお礼を述べた原田会長

今年度も多くのイベントが中止になりましたが、少しずつ開催されており来年度は今より良くなることを期待したいと思います。（東京薬事協会 事務局）

薬事協会報

発行 公益社団法人 東京薬事協会
〒103-0023 東京中央区日本橋本町 3-4-18 昭和薬貿ビル
電話 03-3279-1300 FAX03-3242-1994
URL : <http://www.yakujikyo.or.jp>
E-mail:kusuri@yakujikyo.or.jp